

## ICT 学習支援教材コンテンツ活用実践事例

		学校名	青森県立八戸聾	学校
授業について	教科領域名 (✓又は■で記入する。)	<input type="checkbox"/> 国語 <input type="checkbox"/> 社会 <input type="checkbox"/> 算数・数学 <input type="checkbox"/> 理科 <input type="checkbox"/> 外国語・外国語活動 <input type="checkbox"/> 生活 <input type="checkbox"/> 音楽 <input type="checkbox"/> 図画工作・美術 <input type="checkbox"/> 体育・保健体育 <input type="checkbox"/> 技術・家庭 / 職業・家庭 / 職業 <input type="checkbox"/> 特別の教科 道徳 <input type="checkbox"/> 総合的な学習（探究）の時間 <input type="checkbox"/> 日常生活の指導 <input checked="" type="checkbox"/> 生活単元学習 <input type="checkbox"/> 作業学習 <input type="checkbox"/> 遊びの指導 <input type="checkbox"/> 特別活動 <input type="checkbox"/> 自立活動 <input type="checkbox"/> その他（ ）		
	単元(題材)名	iPad を使おう		
	単元(題材)の目標	iPad の基本操作を理解し、アプリなどを自分で操作し、学習に取り組むことができる。		
学習集団と実態	学部・学年・人数	中学	部	3 年 1 人
	本単元(題材)における学習集団の主な実態	※個別学習の場合は、個人の本単元（題材）における主な実態を端的に記入する。 パソコンや iPad での学習にとっても意欲的である。 難しそうだと思うことは、挑戦する前に「できない。」と話すことがある。		
ICT活用について	使用した支援機器・教材の名称	※使用した ICT 機器（入出力支援装置等）名を記入する。 iPad		
	使用したアプリケーションの名称	※使用したアプリケーション名を記入する。 ピタゴラン		アプリマーク 
	主な活用の用途 (✓又は■で記入する。)	(複数選択可能) <input type="checkbox"/> コミュニケーション支援 <input type="checkbox"/> 活動支援 ( <input type="checkbox"/> 情報入手支援 <input checked="" type="checkbox"/> 機器操作支援 <input type="checkbox"/> 時間支援 ) <input checked="" type="checkbox"/> 学習支援 ( <input type="checkbox"/> 教科学習支援 <input type="checkbox"/> 認知発達支援 <input checked="" type="checkbox"/> 社会生活支援 )		
	ICT活用のねらい	機器の操作を理解することができる。 プログラミング的思考を育成し、自分のやりたいことを行うために何が必要で、今何をすべきかを自分で考えて行動できるようにする。		
活用の状況と支援	※ICT 活用場面と行った支援について記入する。 校内での iPad 使用ルールを確認し、学習に取り組んだ。 タップやスワイプ、ひらがな入力などの基本的な操作を理解し、操作できるようになってから、ピタゴランを使用した。 最初は教師の手本を見て、操作方法やルールなどを理解することができた。 極力、教師は手を出さず、自由な発想で取り組めるように言葉がけを行った。 自分でコースを考えて描くことができるため、回を重ねるごとに、曲線の多いコースにし、難易度を高めながら取り組むことができた。思うように仕掛けが動かず、たまに失敗してしまうこともあるが、次にもっといい仕掛けの組み合わせを考えようというきっかけになっている。無事にゴールすると、自分で拍手をするなど、達成感を味わうことができている。			